

国語総合

番 号	
氏 名	

問題一 次の文を読み、後の設問に答えなさい。

数学者の新井紀子さんがね、『AI vs 教科書が読めない子どもたち』（東洋経済新報社）に書いているんだけど、学校教育で「読解力」が伸びるのは中学生段階までで、高校生になるともう伸びないっていうんです。彼女の言う「読解力」っていうのは、単純な言葉を使った論理能力で、A、エベレスト山は世界でいちばん高い山だ」っていう例文がある。「これが正しいとき、次の文は正しいか」という問いに続いて、「エルブルス山はエベレストよりも低い」という例文がある。これに「①正しい」「②間違っている」「③どちらでもない」のサンタクで解答するという、きわめて単純な論理的理解なんだけど、これ、かなりの中学生がダメらしいんです。（正解は①…編集部註）

なんでこれがダメかというね、私は「できない子」を教えていたから、よく知ってるんです。これ、「代数」が入ってきた時、必ずみんな引かかる問題なんですよ。

B、「 $3a - a = 3$ 」って書く子が必ずいる。3 a から a を引いたら「3」だろうって（笑）。国語としては正しいんだけど、算数としては間違っていますよね。そこを、どう乗り越えるかなんです。「 $2x = 6$ 」は、「 $x = 3$ 」ですよ。 C、できない子っていうのは、これが「気に入らない」んですよ。なぜかという、 x は文字で、3は数字だ」って言うんです。「文字と数字を一緒にしていいの？」って疑問が起こるんです。

これ、その子の中で「感覚」と「概念」がショウトツしているんですね。「文字」と「数字」は、概念的にも、感覚的にも違いますからね。数字は論理的なはずだから、それを「 $||$ 」にしているの「気持ちの悪さ」なんですよ。

D、「a」と「b」を、違うものとしてつくっています。「 $a = b$ 」なら、明日から「b」っていう字は要らない。「a」って書けばいい。「それが論理だろう」ってなる子は、ここで引つかかるんですよ。その子は、「読解力がない」ということになります。

私が非常に面白いと思ったのは、ここで問題になるのは論理ではなく、「気持ちの悪さ」なんです。気持ちの悪さって、じつはそのまんま「倫理」に向かうですね。

「そんな汚ねえことはできない」っていう、言ってみれば、日本の倫理、あるいは日本人の美意識といったものの根本には、この「気持ち悪さ」があるんじゃないかって思うんですよ。 E、麻布とか灘とか、東大に大勢入るような御三家が、中学で「読解力が徹底的に伸びた」子を選んでいるだけっていうのも、わかります。

読解力は、国立系はほとんど百点、私大系になると早稲田・慶應ぐらいでは少し落ちるっていう、国立大系と、私大系で、違うのが面白いでしょう。カンリョウはとくに東大、国立系が多いわけ。だから、汚職なんかがあると、すぐそれを思い出すんです。

「わかっちゃう」というのは、逆に危ないんですね。つまり、十九人殺しの気持ち、「本当に」わかっちゃうやつは、十九人殺しになるんです。それで、さらにギャクテンして、私はアメリカっていう社会が、そこで初めて理解できたような気がしました。

アメリカって徹底的にいろんなハイケイの人が集まってきて、州議会ではなくて連邦議会になったら、そこで通用することは、「普遍的な理性」だけです。だから、アメリカはコンピュータが発達するんでしょう。理性を突きつめるとコンピュータになるわけだから。（養老孟司・山極寿一『虫とゴリラ』（毎日新聞出版、p104ff）

問一 傍線部1から5のカタカナを適当な漢字に直しなさい。

- 1 サンタク
- 2 ショウトツ
- 3 カンリョウ
- 4 ギャクテン
- 5 ハイケイ

問二 文中のAからEの中に、次の選択肢の中から適当な語句を選び、その番号で答えなさい。

- ① だから
- ② だけど
- ③ つまり
- ④ 例えば
- ⑤ そもそも人は

問三 傍線部アからカまでの「の」の用法と同じものをそれぞれ次の例文の中から選び、その番号で答えなさい。

- ① 明日は学校は休みじゃなかったの？
- ② 去年、夏に旅行先で会ったのを覚えていますか。
- ③ 子供の合格を祝って今夜は赤飯にしよう。
- ④ 彼女が今度一年生担任の山川先生です。
- ⑤ 郵便局は三つ目の角を右に回ってすぐですよ。
- ⑥ 私は今年四月から看護学校の学生です。

問四 傍線部タ「よく知っている」とあるが、「何」を知っているのか、十五字以内で指摘しなさい。

問五 傍線部チ「そこ」とは何を指しているか、次の中から最も適当なものを選び、その番号で答えなさい。

- ① aが3つあって、そこから一つ引くから2aになるという点
- ② 国語としては（見た目には）正しいという点
- ③ 算数（代数問題）としては間違っているという点
- ④ 国語（見た目）と算数（代数問題）は違うのだという点

問六 傍線部ツ「そのまんま」の用法に最も近いのは次の例文のうちどれか、その番号で答えなさい。

- ① 動かないでそのまゝの状態です。
- ② タベは疲れていたため風呂から上がってそのまま蒲団に入った。
- ③ あの作品は本物そのままに描かれた贋作だった。
- ④ あの人の褒め言葉をそのまま信じないほうがいいですよ。

問七 傍線部テ「それ」は何を指すか、次の選択肢の中から最も適当なものを選び、その番号で答えなさい。

- ① 「読解力」のない人たちがカンリョウになった場合、汚職にかかわる傾向があるということ。
- ② 「気持ち悪さ」を感じない「読解力」のある優秀なカンリョウが日本を支えているということ。
- ③ 東大、国立系が多いカンリョウは、「読解力」は優れているが倫理感に欠ける傾向があるということ。
- ④ 東大、国立大系と早稲田や慶應などの私学系で「読解力」にはつきり違いがあるということ。

問八 傍線部ト『わかっちゃあう』というのは、逆に危ないんですね。」と作者が考える理由として、次の中から最も適当なものを選び、その番号で答えなさい。

- ① 「わかっちゃあう」人というのは自分の理解したことが絶対正しいと思ひ込み、他の考えを一切受け付けないから。
- ② 「わかっちゃあう」人は何でも決まり切った公式通りに考え、融通がきかないから。
- ③ 「わかっちゃあう」人は何事も論理的に考えて正しいと思ったことを実行するので倫理観にかける傾向があるから。
- ④ 「わかっちゃあう」人は他人の気持ちもすぐに理解し、それに応じた行動をとってしまいがちであるから。

問九 傍線部ナ「アメリカについて作者はどのように理解したのか、簡潔に四十字以内で要約しなさい。

問十 傍線部ニ「普遍的な理性」とあるが、これは具体的に言うところのどのようなことを意味していると思われるか、次の中から最も適当なものを選び、その番号で答えなさい。

- ① 科学的な自然法則
- ② 人々の生活を律する道徳や慣習
- ③ 客観的な規則や法律
- ④ 自由と平等の思想

問十一 傍線部ヌ「理性を突きつめるとコンピュータになる」とはどのようなことか、次の文から最も適当なものを選び、その番号で答えなさい。

- ① 人間の合理的な理性の働きはいろいろな道具を発明したが、その中でも歴史上最高の発明品がコンピュータであるという意味。
- ② 理性は主観的な感情や本能に支配されず合理的、論理的に思考し判断する能力で、その能力を最高に発揮するのがコンピュータであるという意味。
- ③ 理性は科学と科学技術を飛躍的に進歩させ、近代文明を発展させてきたが、その発展に最も貢献しているのがコンピュータであるという意味。
- ④ 理性は普遍性を目ざすから、普遍的な情報しか扱わないコンピュータは人間の感情や芸術は理解出来ない機械であるという意味。

問十二 本文全体について何か「見出し」をつけるとすれば、次のどれが最も適当か、その番号で答えなさい。

- ① 「読解力」について
- ② 代数問題について
- ③ 日本人の美意識
- ④ アメリカ社会とコンピュータ

問題二 次のAからjまでの①と②は、明治以降発行された名作の冒頭と末尾の部分です。それぞれの作品名の**番号**と作者名の**記号**を後の選択肢の中から選び、記入しなさい。

- A ① 山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。
② 「それだ！ それだ！ それが出れば画になりますよ」と余は那美さんの肩を叩きながら小声に云った。余が胸中の画面はこの咄嗟の際に成就したのである。
- B ① 石炭をばはや積み果てつ。中等室の卓のほとりはいと静かにて、熾熱燈の光の晴れがましきも徒なり。
② ああ、相沢謙吉がごとき良友は世にまた得がたかるべし。されどわが脳裡に一点の彼を憎むころ今日までも残りけり。
- C ① 幼時から父は、私によく、金閣のことを語った。
② 一仕事を終へ一服している人がよくそう思うように、生きようと私は思った。
- D ① 道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思う頃、雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追って来た。
② 頭が澄んだ水になってしまっていて、それがぼろぼろ零れ、その後には何も残らないような甘い快さだった。
- E ① 或春の日暮です。唐の都洛陽の西の門の下に、ぼんやり空を仰いでゐる、一人の若者がありました。
② 「今頃は丁度家のまはりに、桃の花が一面に咲いているだらう。」と、さも愉快さうにつけ加へました。
- F ① メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。
② 「メロス、君は、まっばだかじやないか。早くそのマントを着るがいい。この可愛い娘さんは、メロスの裸体を、皆に見られるのが、たまらなく口惜しいのだ。」勇者は、ひどく赤面した。
- G ① 鮎汰と祖母りょうの二人だけの土蔵の中の生活に、冴子という十九歳の少女が突然やって来て、同居するようになったのは、鮎汰が十三になった春であった。
② そこは、去年の秋、熊さん夫婦と、オシゲと、三人の彼女の仲間たちと、それに犬塚山次と鮎汰が加わって、月を見た星の植民地の丁度真ん中に当る場所であった。
- H ① 「ではみなさんは、そういうふう川だと言われたり、乳の流れたあとだと言われたりしていた、このぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知ですか。」
② ジョバンニはもういろいろなことで胸がいっぱいでなんにも云えずに博士の前をはなれて早くお母さんに牛乳を持って行ってお父さんの帰ることを知らせようと思うともう一目散に河原を街の方へ走りました。
- I ① 十二月二十九日(月)
彼女は二階堂先生の所以外、ほとんど病院に掛かったことがないので、出かける前はかなり不安がっていた。
② わたしは、破壊された姉の赤ん坊に会うために、新生児室に向かって歩き出した。
- J ① 「おい地獄さ行くんだで！」
② 「本当のことを云えば、そんな先きの成算なんて、どうでもいいんだ。——死ぬか、生きるか、だからな」
「ん、もう一回だ！」
そして、彼等は、立ち上った。——もう一度！

作品名	作者名
① 『銀河鉄道の夜』	ア 森 鷗外
② 『蟹工船』	イ 夏目漱石
③ 『妊娠カレンダー』	ウ 芥川龍之介
④ 『あすなる物語』	エ 太宰 治
⑤ 『金閣寺』	オ 三島由紀夫
⑥ 『伊豆の踊子』	カ 宮沢賢治
⑦ 『走れメロス』	キ 川端康成
⑧ 『杜子春』	ク 小林多喜二
⑨ 『舞姫』	ケ 小川洋子
⑩ 『草枕』	コ 井上靖